

令和7年度第2回野田市コミュニティバス等対策審議会

会議次第

日時 令和7年12月24日（水）

午後2時00分から

場所 野田市役所 低層棟4階 委員会室

1 開会

2 議題

- (1) 次期まめバス見直しに向けた今後の審議方針について
- (2) まめバスアンケート調査の結果について（報告）
- (3) まめバスの利用促進策について（報告）

3 その他

4 閉会

次期まめバス見直しに向けた今後の審議方針について

<審議方針>

まめバスについては、依然として深刻な運転士不足が続いていることに加え、昨今の物価高騰による燃料費や人件費の増加により運行経費が年々上昇していることから、まめバスだけで市内全域における市民の足を確保することは困難な状況となっています。

このため、次期まめバスの見直しに当たっては、現在の運行に見直してから時間の経過が短く、利用者への影響を考慮する必要があることから、基本的にルート及びダイヤの再編は行わないこととし、高齢者等の交通弱者対策という原点に立ち返り、「運賃改定」・「運転免許証返納者支援」・「デマンド交通等の導入」を3本の柱として検討していきます。

【運賃改定の必要性】

1 運行経費の増加

まめバスは財政支出の上限額を 5,000 万円に設定して運行を開始しましたが、平成 19 年 10 月からは 6,800 万円、平成 31 年 4 月からは 1 億円に見直し、令和 6 年 10 月からは上限額を設げずに運行しています。しかしながら、燃料費や人件費の増加により運行経費が年々増加し、令和 7 年度の運行補助額は 1 億 5,000 万円を超える見込みとなっています。

現在の運行を維持するためには、運賃を改定し、運行経費の増加に対応する必要があります。

2 他の交通機関との公平性の確保

まめバスは平成 16 年の運行開始以来、運賃 100 円を維持していましたが、路線バスやタクシー運賃が値上げしている中、他の交通機関との公平性を確保するためには、運賃を適正に設定する必要があります。

3 財政健全化

厳しい財政状況を踏まえ、持続可能な運営を行う必要があります。

【運転免許証返納者支援の必要性】

1 高齢者の生活の質の維持

高齢化が進み運転免許証返納者が増えた結果、交通手段がなくなり、外出や生活の質に支障を来す高齢者が増える可能性があります。

高齢者が社会参加を続け、健康で自立した生活を送るためには、免許返納者に対する支援が必要となります。

2 交通弱者への配慮

免許証を返納した高齢者は、交通手段を持たない「交通弱者」となりやすくなります。免許証返納者への支援を強化することは、交通弱者を支える社会的な責任として非常に重要となります。

3 残る交通空白地域への支援

運転免許証返納者が増える一方で、路線バスやタクシー、コミュニティバス、デマンド交通等で十分に対応できない場合は、残る交通空白地域への支援が別に必要となります。

【デマンド交通等導入の必要性】

1 交通不便地域の解消

まめバスが運行できない狭隘道路の運行が可能となるため、まめバスの運行を補完し、交通不便地域の解消に役立ちます。

2 効率的な運行と運行経費削減

運行本数を需要に合わせて調整できるため、無駄な運行を減らすことができ、従来の定期運行に比べ運行経費を抑えることができます。

3 地域経済の活性化

商業施設や医療機関等へのアクセスを向上させることで、住民が外出しやすくなり、店舗等の利用が促進され、地域経済の活性化につながります。

(参考)

<バス事業者との運行協定>

これまで、まめバスは、バス事業者との5年間の協定に基づき運行していましたが、近年の燃料費や人件費等の高騰を受け、運行経費の見通しがつかないことから、現運行計画より協定期間を3年間としています。

<運行経緯>

【平成 16 年 1 月】財政支出上限 5,000 万円（全 3 ルート 5 台、41 便）

- ・合併による行政改革効果の一部を充てて運行する。

【平成 17 年 4 月】財政支出上限 5,000 万円（全 4 ルート 8 台、67 便）

- ・増便及び増ルートを望む多くの声により、上限額以内で運行計画を見直す。

【平成 19 年 10 月】財政支出上限 6,800 万円（全 6 ルート 10 台、82 便）

- ・行政改革効果により、財政支出上限額を上げて運行する。

【平成 23 年 4 月】財政支出上限 6,800 万円（全 6 ルート 10 台、119 便）

- ・上限額以内での運行となるよう運行計画を見直す。

【平成 28 年 7 月】財政支出上限 6,800 万円（全 6 ルート 10 台、113 便）

- ・上限額以内での運行となるよう運行計画を見直す。

【平成 31 年 4 月】財政支出上限目安 1 億円（全 12 ルート 13 台、208 便）

- ・運行目的を「公共施設へのアクセス性の向上」から「生活圏域への移動の利便性向上」にシフトし運行する。

【令和 6 年 10 月】財政支出上限なし（全 12 ルート 13 台、208 便）

- ・燃料費や人件費の高騰により運行経費が年々上昇し、上限額を設けずより実態に即した金額での運行とする。
- ・運転士不足によりデマンド交通の早期導入が難しい状況であるため、従前のルートを基本として、ダイヤの組換えによる利便性の向上を主として、ルート及びダイヤの再編を行う。

まめバスの収支状況について

1 まめバスの運行事業補助金額等の推移

年度	利用者数 (人)	運行経費① (円)	燃料等実費分② (円)	運賃収入等 (税抜) ③ (円)	補助金額④ (①+②-③) (円)
R 6	290,080	131,987,547	32,969,811	24,119,240	140,838,118
R 5	288,630	121,913,461	32,741,417	23,314,676	131,340,202
R 4	277,441	120,955,759	31,138,059	22,202,235	129,891,583
R 3	244,700	120,040,337	27,105,877	19,576,185	127,570,029
R 2	221,721	120,795,766	22,497,645	17,905,187	125,388,224
R元	291,282	118,570,065	26,199,134	23,995,217	120,773,982

2 まめバス車両（13台）のリース料の推移

(単位：円)

年度	R元	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
リース料	33,737,472	34,598,952	35,064,192	35,507,192	35,453,232	36,720,308	35,973,168

3 令和7年度の運賃等の収入状況

(4月1日～10月31日：平日146日、土日祝日68日、全214日間)

(単位：円)

	関宿城	七光台	イオン	新北	清水	堤台	中
利用者数	4,791人	16,576人	21,676人	16,352人	19,004人	19,563人	15,891人
現金収入	254,027	914,909	1,183,551	786,300	829,424	946,570	670,398
回数券等 販売額	147,800	532,700	572,000	557,500	658,800	581,900	571,300
広告収入	—	—	—	—	—	—	—
合計	401,827	1,447,609	1,755,551	1,343,800	1,488,224	1,528,470	1,241,698

	中根	愛宕・ 大殿井	南循環	新南	営業所・ 市役所等	合計 (税込)
利用者数	22,830人	17,238人	17,940人	12,908人	—	184,769人
現金収入	1,210,894	884,962	817,016	637,388	—	9,135,439
回数券等 販売額	762,500	638,710	681,300	467,900	621,810	6,794,220
広告収入	—	—	—	—	212,520	212,520
合計	1,973,394	1,523,672	1,498,316	1,105,288	834,330	16,142,179

4 令和7年度の補助金の実績額及び見込額

月	利用者数 (人)	運行経費① (円)	燃料等実費分② (円)	運賃収入等 (税抜) ③ (円)	補助金額④ (①+②-③) (円)
4月	25,116	11,436,400	2,117,246	1,983,296	11,570,350
5月	24,374	11,817,600	2,185,096	1,911,199	12,091,497
6月	25,939	11,436,400	4,278,691	2,083,013	13,632,078
7月	27,646	11,817,600	2,665,932	2,227,025	12,256,507
8月	26,776	11,817,600	4,289,068	2,113,691	13,992,977
9月	26,695	11,436,400	3,136,818	2,122,342	12,450,876
10月	28,223	11,817,600	2,177,409	2,234,144	11,760,865
4月～10月 (実績)	184,769	81,579,600	20,850,260	14,674,710	87,755,150
11月～3月 (見込み)	120,802	56,038,657	16,163,511	9,622,291	62,579,877
4月～3月 計 (見込み)	305,571	137,618,257	37,013,771	24,297,001	150,335,027

まめバスアンケート調査の結果について

まめバス利用者の年齢層や免許証保有状況、運賃改定による利用意識等を把握するため、8月及び10月に、野田市職員がバスに乗車し、アンケート調査を実施しました。

なお、この調査は、野田市職員が利用者に調査票を手渡し、限られた時間の中で回答していただいております。このため、乗車した全員への案内が難しく、回答数は実利用者数ではなくルートごとに偏りがあるほか、個々に質問内容を説明することが難しいため、設問の意図が回答者に十分に伝わりきれていない可能性があります。

調査の概要

<実施期間及び対象ルート>

[令和7年8月22日（金）9：00～17：00]

- ②関宿七光台ルート
- ③関宿イオンタウンルート
- ⑤清水ルート
- ⑥堤台ルート
- ⑧中根ルート
- ⑨愛宕ルート
- ⑩大殿井ルート

[令和7年8月23日（土）9：00～17：00]

- ⑥堤台ルート
- ⑧中根ルート
- ⑨愛宕ルート
- ⑩大殿井ルート

[令和7年8月30日（土）9：00～17：00]

- ②関宿七光台ルート
- ③関宿イオンタウンルート
- ⑤清水ルート

[令和7年10月3日（金）9：00～17：00]

- ①関宿城ルート
- ④新北ルート
- ⑦中ルート
- ⑪南循環ルート
- ⑫新南ルート

[令和7年10月4日（土）9：00～17：00]

- ①関宿城ルート
- ④新北ルート
- ⑦中ルート

[令和7年10月11日（土）9：00～17：00]

- ⑪南循環ルート
- ⑫新南ルート

<アンケート実施方法>

- (1)乗客の乗車時、アンケート用紙、バインダー、鉛筆を渡す。
 - (2)乗車中、乗客に鉛筆で回答を記入していただく。
 - (3)乗客の降車時、アンケート用紙一式を回収する。
- ※利用者の乗降バス停については、調査員（野田市職員）が記録。

<まめバスに関するアンケート調査>

次の質問について、当てはまる答えを選び、○で囲んでください。

質問	回答				
①乗車場所	自宅付近 目的地付近				
②自宅からバス停までの徒歩時間	5分以内	5~10分	10~15分	15分以上	
③まめバスの利用頻度	ほぼ毎日	週1~2日	月1回	年に数回	初めて
④どのようにまめバスを知りましたか	市ホーム ページ	市報	SNS	走っている のを見て	その他 ()
⑤まめバスの主な利用目的(複数可)	買物・私事	通院	通勤・通学	業務	その他 ()
⑥目的地(差し支えなければご記入ください)	(例) 野田市役所				
⑦他の交通への乗り継ぎ	鉄道	路線バス	まめバスの 他路線	乗り継ぎ	なし
⑧まめバスの利用で重視する点	バス停まで 近い	運行本数が 多い	料金が安い	時刻表どおり の運行	移動に合つた運行 ダイヤ
⑨まめバスの利用はいくらまで	300円まで なら利用	200円まで なら利用	増額したら 利用しない		
⑩まめバス以外の外出時の主な交通手段(複数可)	徒歩 タクシー	自転車 福祉 タクシー	バイク 自ら運転 する自動車	鉄道 自動車で	路線バス 送迎
⑪主な外出頻度	ほぼ毎日	週1~2日	月1回	年に数回	
⑫自動車免許の保有状況	免許を 持っている	免許を持つ ていない	自主返納 した	自主返納 する予定	
⑬年齢	10代 60~64歳	20代 65~69歳	30代 70~74歳	40代 75~79歳	50代 80歳以上

乗		降
1	川間駅南口	1
2	いちょう通り	2
3	岩木小入口	3
4	春日いちょう	4
5	五木新町公園	5
6	ふれあい公園	6
7	七光台駅	7
8	光葉町2丁目	8
9	光葉町3丁目	9
10	香橋	10
11	桜の里2丁目	11
12	堤台松山	12
13	堤台八幡神社	13
14	つつみ野住宅	14
15	堤台向山	15
16	中野台鹿島町	16
17	中野台入口	17
18	鹿島神社前	18
19	中野台	19
20	櫻のホール	20
21	上町	21
22	愛宕神社前	22
23	愛宕駅	23
24	保健所前	24
25	キッコ病院入口	25
26	キッコーマン病院	26
27	宮崎郵便局前	27
28	市役所	28

ご協力ありがとうございました。
野田市交通政策室 (04-7123-1065)

まめバスアンケート調査結果

0.回答合計

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
回答者数	695	-	352	-	343	-	307	-	222	-

- 回答者数の約半数が65歳以上である。

1.乗車場所

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
自宅付近	442	64.0%	199	56.9%	243	71.3%	228	74.5%	166	75.1%
目的地付近	208	30.1%	128	36.6%	80	23.5%	63	20.6%	44	19.9%
無回答	41	5.9%	23	6.6%	18	5.3%	15	4.9%	11	5.0%
合計	691		350		341		306		221	
(無効回答数)		4		2		2		1		1

- 自宅付近から乗車している利用者の割合が多く、自宅を出るときはまめバスだが、帰りは違う方法で帰宅するなど非対称な利用実態となっている可能性がある。

2.自宅からバス停までの徒歩時間

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
5分以内	357	51.4%	161	45.7%	196	57.1%	178	58.0%	124	55.9%
5~10分	205	29.5%	98	27.8%	107	31.2%	99	32.2%	81	36.5%
10~15分	45	6.5%	25	7.1%	20	5.8%	17	5.5%	11	5.0%
15分以上	54	7.8%	45	12.8%	9	2.6%	6	2.0%	3	1.4%
無回答	34	4.9%	23	6.5%	11	3.2%	7	2.3%	3	1.4%
合計	695		352		343		307		222	

- 全体で利用者の約80%がバス停から10分圏内に居住している。
- 高齢になるにつれ、10分圏内利用者の割合は高まり、75歳以上では92.4%に達している。
- 全体的に10分以上かけて利用している割合（14.3%）から徒歩圏域は広いと考えられる。

3.まめバスの利用頻度

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
ほぼ毎日	134	19.3%	64	18.2%	70	20.4%	63	20.5%	43	19.4%
週1~2回	311	44.7%	124	35.2%	187	54.5%	168	54.7%	123	55.4%
月1回	127	18.3%	71	20.2%	56	16.3%	53	17.3%	40	18.0%
年に数回	75	10.8%	55	15.6%	20	5.8%	14	4.6%	11	5.0%
初めて	29	4.2%	24	6.8%	5	1.5%	4	1.3%	3	1.4%
無回答	19	2.7%	14	4.0%	5	1.5%	5	1.6%	2	0.9%
合計	695		352		343		307		222	

- 全体でほぼ毎日利用している者は約20%である。
- 65歳以上の高齢者は週1~2回利用が多い一方で、65歳未満では週1~2回利用が多いものの、年に数回、初めて利用する者も多い傾向にある。

4.どのようにまめバスを知りましたか

※MAの「割合」は全回答数に対する比

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
市ホームページ	107	15.4%	52	14.8%	55	16.0%	48	15.6%	36	16.2%
市報	227	32.7%	52	14.8%	175	51.0%	163	53.1%	133	59.9%
SNS	10	1.4%	10	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
走っているのを見て	309	44.5%	205	58.2%	104	30.3%	89	29.0%	53	23.9%
その他	45	6.5%	28	8.0%	17	5.0%	11	3.6%	6	2.7%
合計	698		347		351		311		228	

- ・全体では走っているのを見て認知した利用者が最も多い。
- ・高齢者は市報で知った割合が多いが、SNSで知った人がいないのは、高齢者のスマホ等の利用の苦手意識が根強くあるものと考えられる。

5.まめバスの主な利用目的

※MAの「割合」は全回答数に対する比

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
買物・私事	472	67.9%	210	59.7%	262	76.4%	237	77.2%	168	75.7%
通院	205	29.5%	56	15.9%	149	43.4%	136	44.3%	103	46.4%
通勤・通学	118	17.0%	97	27.6%	21	6.1%	15	4.9%	5	2.3%
業務	41	5.9%	31	8.8%	10	2.9%	10	3.3%	9	4.1%
その他	37	5.3%	21	6.0%	16	4.7%	13	4.2%	8	3.6%
合計	873		415		458		411		293	

- ・全体で買物・私事による利用が最も多く、通院も高齢者を中心に大きな割合を占めている。
- ・通勤・通学利用は通勤時間帯外の調査のため、全体で20%未満にとどまっているが、各ルートの始発便の利用が多いことを月々確認しているので、今回の調査以上に、通勤・通学目的による利用があると考えられる。

6.目的地(回答数降順、上位20件)

※MAの「割合」は全回答数に対する比

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
バス：川間駅南口	66	9.5%	46	13.1%	20	5.8%	19	6.2%	13	5.9%
無効	58	8.3%	20	5.7%	38	11.1%	32	10.4%	23	10.4%
バス：市役所	55	7.9%	28	8.0%	27	7.9%	24	7.8%	20	9.0%
バス：梅郷駅	39	5.6%	30	8.5%	9	2.6%	9	2.9%	7	3.2%
バス：ノア前	38	5.5%	8	2.3%	30	8.7%	30	9.8%	21	9.5%
バス：イオンタウン	30	4.3%	16	4.5%	14	4.1%	12	3.9%	5	2.3%
バス：愛宕駅	22	3.2%	12	3.4%	10	2.9%	10	3.3%	5	2.3%
バス：キッコーマン病院	20	2.9%	2	0.6%	18	5.2%	17	5.5%	15	6.8%
バス：櫛のホール	18	2.6%	7	2.0%	11	3.2%	11	3.6%	11	5.0%
バス：野田病院	12	1.7%	5	1.4%	7	2.0%	6	2.0%	4	1.8%
バス：野田市駅	7	1.0%	4	1.1%	3	0.9%	1	0.3%	0	0.0%
施設：イオンノア	7	1.0%	2	0.6%	5	1.5%	5	1.6%	4	1.8%
バス：関宿中央ターミナル	6	0.9%	3	0.9%	3	0.9%	3	1.0%	1	0.5%
施設：キッコーマン総合病院	6	0.9%	2	0.6%	4	1.2%	4	1.3%	3	1.4%
施設：川間駅	6	0.9%	4	1.1%	2	0.6%	2	0.7%	2	0.9%
バス：みずき通り	5	0.7%	2	0.6%	3	0.9%	2	0.7%	1	0.5%
バス：仲町	5	0.7%	4	1.1%	1	0.3%	1	0.3%	1	0.5%
施設：柏	5	0.7%	4	1.1%	1	0.3%	0	0.0%	0	0.0%
バス：いちいのホール	4	0.6%	2	0.6%	2	0.6%	2	0.7%	2	0.9%
バス：関宿中央ターミナル	4	0.6%	2	0.6%	2	0.6%	2	0.7%	2	0.9%

※無効については、無回答やその他回答（友人の家等）を含む。

- ・65歳未満では、川間駅、梅郷駅、市役所、イオンタウンが多い。
- ・高齢者は、ノア前が最も多く、市役所、川間駅に加え、キッコーマン病院の利用が上位を占めている。

7.他の交通への乗り継ぎ

※MAの「割合」は全回答数に対する比

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
鉄道	325	46.8%	188	53.4%	137	39.9%	121	39.4%	75	33.8%
路線バス	38	5.5%	25	7.1%	13	3.8%	12	3.9%	7	3.2%
まめバスの他路線	60	8.6%	26	7.4%	34	9.9%	30	9.8%	24	10.8%
乗り継ぎなし	260	37.4%	118	33.5%	142	41.4%	128	41.7%	98	44.1%
合計	683		357		326		291		204	

- 全体で鉄道への乗り継ぎが多い一方で、路線バス・まめバス他路線への乗り継ぎは15%未満に留まるものの、一定の利用がみられる。
- 高齢者は乗り継ぎなしの利用が多いことから、一本で目的地まで行けるルートを必要としていると考えられる。

8.まめバスの利用で重視する点

※MAの「割合」は全回答数に対する比

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
バス停まで近い	353	50.8%	147	41.8%	206	60.1%	185	60.3%	138	62.2%
運行本数が多い	62	8.9%	32	9.1%	30	8.7%	27	8.8%	20	9.0%
料金が安い	367	52.8%	200	56.8%	167	48.7%	149	48.5%	94	42.3%
時刻表どおりの運行	75	10.8%	20	5.7%	55	16.0%	50	16.3%	44	19.8%
移動に合った運行ダイヤ	58	8.3%	34	9.7%	24	7.0%	23	7.5%	18	8.1%
合計	915		433		482		434		314	

- 全体でまめバス利用者は、運行本数や、移動に合ったダイヤよりも、バス停が近いこと（50.8%）、料金が安いこと（52.8%）を重視していると考えられる。

9.まめバスの利用はいくらまで

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
300円までなら利用	68	9.8%	42	11.9%	26	7.6%	23	7.5%	15	6.8%
200円までなら利用	444	64.0%	209	59.4%	235	68.7%	220	71.9%	158	71.5%
増額したら利用しない	122	17.6%	72	20.5%	50	14.6%	37	12.1%	29	13.1%
無回答	60	8.6%	29	8.2%	31	9.1%	26	8.5%	19	8.6%
合計	694		352		342		306		221	

(無効回答数) 1 0 1 1 1

- 全体で73.8%の方は、運賃を増額しても利用すると回答しており、65歳以上の高齢者は、76.3%の利用者が運賃の値上げを受け入れると考えられる。

10.まめバス以外の外出時の主な交通手段

※MAの「割合」は全回答数に対する比

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
徒歩	385	55.4%	207	58.8%	178	51.9%	156	50.8%	113	50.9%
自転車	194	27.9%	116	33.0%	78	22.7%	66	21.5%	48	21.6%
バイク	5	0.7%	4	1.1%	1	0.3%	1	0.3%	0	0.0%
鉄道	255	36.7%	167	47.4%	88	25.7%	79	25.7%	50	22.5%
路線バス	144	20.7%	82	23.3%	62	18.1%	51	16.6%	35	15.8%
タクシー	123	17.7%	42	11.9%	81	23.6%	77	25.1%	62	27.9%
福祉タクシー	14	2.0%	3	0.9%	11	3.2%	11	3.6%	9	4.1%
自ら運転する自動車	61	8.8%	41	11.6%	20	5.8%	19	6.2%	13	5.9%
自動車で送迎	60	8.6%	38	10.8%	22	6.4%	20	6.5%	15	6.8%
合計	1241		700		541		480		345	

- 全体でまめバス利用者は、主な交通手段として、自動車を利用する割合は8.8%と低い。
- 高齢になるにつれ、鉄道の利用率が減り、タクシーの利用率が上昇傾向にあることが確認できる。
- まめバス利用者の過半数が徒歩を選択しているが、まめバスで行っている目的地まで徒歩で行っているということではなく、まめバス利用時以外は行動範囲が自宅周辺等の徒歩圏域に限定されていることが考えられる。

11.主な外出頻度

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
ほぼ毎日	337	48.5%	225	63.9%	112	32.7%	102	33.2%	63	28.4%
週1~2回	267	38.4%	86	24.4%	181	52.8%	162	52.8%	123	55.4%
月1回	41	5.9%	11	3.1%	30	8.7%	28	9.1%	24	10.8%
年に数回	16	2.3%	10	2.8%	6	1.7%	4	1.3%	3	1.4%
無回答	34	4.9%	20	5.7%	14	4.1%	11	3.6%	9	4.1%
合計	695		352		343		307		222	

- ・高齢になるにつれ、外出は減少傾向にある。
- ・まめバスのルート廃止等は、外出機会の減少につながり、健康促進が抑えられ、医療費や介護費などの増加につながる可能性があることから、慎重に実施するべきと考えられる。

12.自動車免許の保有状況

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
免許を持っている	238	34.2%	183	52.0%	55	16.0%	44	14.3%	27	12.2%
免許を持っていない	319	45.9%	142	40.3%	177	51.6%	162	52.8%	116	52.3%
自主返納した	96	13.8%	6	1.7%	90	26.2%	84	27.4%	68	30.6%
自主返納する予定	19	2.7%	2	0.6%	17	5.0%	15	4.9%	9	4.1%
無回答	23	3.3%	19	5.4%	4	1.2%	2	0.7%	2	0.9%
合計	695		352		343		307		222	

- ・まめバスを利用する65歳以上の方は、免許を持っていない割合が50%を超えており、自主返納している方が、65歳以上から25%以上と、4人に1人以上いる。
 - ・まめバスは、免許を持っていない方、免許を返納した方の重要な足として機能しており、今後、核家族化した現代社会においては、自ら移動しなければならない状況が多くあることから、少子高齢化が進む中で、市民の足として必要な交通手段であると考えられる。
- <野田市内>令和7年9月末現在
- ・免許保有者 102,537人（うち、65歳以上29,151人、70歳以上21,543人、75歳以上13,005人）
 - ・免許返納者 347人（うち、65歳以上 319人、75歳以上 219人）
 - ・免許返納率 0.33%（うち、65歳以上 0.31%、75歳以上 0.21%）
- ※免許返納者、免許返納率については、警察でのデータ集計の関係上、65歳以上、75歳以上の集計。

13.年齢

	全体		65歳未満		65歳以上		70歳以上		75歳以上	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
10代	39	5.6%	39	11.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	41	5.9%	41	12.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30代	37	5.3%	37	11.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40代	70	10.1%	70	21.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
50代	99	14.2%	99	29.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
60~64歳	47	6.8%	47	14.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
65~69歳	36	5.2%	0	0.0%	36	10.5%	0	0.0%	0	0.0%
70~74歳	85	12.2%	0	0.0%	85	24.8%	85	27.7%	0	0.0%
75~79歳	80	11.5%	0	0.0%	80	23.3%	80	26.1%	80	36.0%
80歳以上	142	20.4%	0	0.0%	142	41.4%	142	46.3%	142	64.0%
合計	676		333		343		307		222	
(無効回答数)	19		19		0		0		0	

- ・全体で、10代、20代、30代は各5%強だが、40代から10%を超え、50代が14.2%、60代が12%、70代が23.7%、80歳以上は20.4%となった。（野田市（10月1日現在）：50代23,047人（1971～73年第2次ベビーブーム）、60代17,572人）
- ・改めて、交通弱者対策という原点に立ち返り検討することが必要と考えられる。

まめバスアンケート調査結果(ルート別)

0.回答合計

	1 関宿城		2 七光台		3 イオン		4 新北		5 清水		6 堤台		7 中		8 中根		9 愛宕		10 大殿井		11 南循環		12 新南	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
回答者数	27	-	61	-	62	-	46	-	58	-	76	-	56	-	79	-	60	-	24	-	90	-	56	-

1.乗車場所

	1 関宿城		2 七光台		3 イオン		4 新北		5 清水		6 堤台		7 中		8 中根		9 愷		10 大殿井		11 南循環		12 新南	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
自宅付近	17	63.0%	42	68.9%	42	67.7%	23	50.0%	26	44.8%	61	80.3%	36	64.3%	51	64.6%	38	63.3%	11	45.8%	65	72.2%	30	53.6%
目的地付近	1	3.7%	15	24.6%	15	24.2%	22	47.8%	22	37.9%	11	14.5%	20	35.7%	22	27.8%	21	35.0%	12	50.0%	24	26.7%	23	41.1%
無回答	9	33.3%	4	6.6%	5	8.1%	1	2.2%	10	17.2%	4	5.3%	0	0.0%	6	7.6%	1	1.7%	1	4.2%	1	1.1%	3	5.4%
合計	27		61		62		46		58		76		56		79		60		24		90		56	

- ・全体として自宅付近からの利用が多いが、その程度はルートによって異なる。
- ・6 堤台・11 南循環では自宅付近からの利用の割合が大きい一方、4 新北・10 大殿井では自宅付近からの乗車と目的地付近からの乗車が概ね同数である。

2.自宅からバス停までの徒歩時間

	1 関宿城		2 七光台		3 イオン		4 新北		5 清水		6 堤台		7 中		8 中根		9 愷		10 大殿井		11 南循環		12 新南	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
5分以内	9	33.3%	27	44.3%	29	46.8%	20	43.5%	24	41.4%	42	55.3%	24	42.9%	48	60.8%	40	66.7%	11	45.8%	55	61.1%	28	50.0%
5~10分	7	25.9%	15	24.6%	19	30.6%	19	41.3%	21	36.2%	22	28.9%	19	33.9%	17	21.5%	14	23.3%	4	16.7%	27	30.0%	21	37.5%
10~15分	2	7.4%	4	6.6%	6	9.7%	4	8.7%	5	8.6%	6	7.9%	4	7.1%	5	6.3%	1	1.7%	2	8.3%	4	4.4%	2	3.6%
15分以上	1	3.7%	12	19.7%	6	9.7%	0	0.0%	1	1.7%	3	3.9%	9	16.1%	8	10.1%	4	6.7%	4	16.7%	3	3.3%	3	5.4%
無回答	8	29.6%	3	4.9%	2	3.2%	3	6.5%	7	12.1%	3	3.9%	0	0.0%	1	1.3%	1	1.7%	3	12.5%	1	1.1%	2	3.6%
合計	27		61		62		46		58		76		56		79		60		24		90		56	

- ・いずれのルートにおいても徒歩5分以内との回答が最も多い。
- ・2 七光台、7 中、10 大殿井で、自宅からバス停まで徒歩15分以上の割合が高い。

3.まめバスの利用頻度

	1 関宿城		2 七光台		3 イオン		4 新北		5 清水		6 堤台		7 中		8 中根		9 愷		10 大殿井		11 南循環		12 新南	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
ほぼ毎日	6	22.2%	5	8.2%	10	16.1%	13	28.3%	11	19.0%	15	19.7%	9	16.1%	12	15.2%	11	18.3%	3	12.5%	22	24.4%	17	30.4%
週1~2回	8	29.6%	34	55.7%	37	59.7%	21	45.7%	25	43.1%	28	36.8%	29	51.8%	34	43.0%	25	41.7%	7	29.2%	40	44.4%	23	41.1%
月1回	3	11.1%	15	24.6%	6	9.7%	7	15.2%	10	17.2%	18	23.7%	6	10.7%	12	15.2%	13	21.7%	6	25.0%	19	21.1%	12	21.4%
年に数回	2	7.4%	6	9.8%	5	8.1%	4	8.7%	8	13.8%	10	13.2%	9	16.1%	14	17.7%	4	6.7%	4	16.7%	8	8.9%	1	1.8%
初めて	0	0.0%	1	1.6%	1	1.6%	1	2.2%	0	0.0%	4	5.3%	3	5.4%	6	7.6%	7	11.7%	2	8.3%	1	1.1%	3	5.4%
無回答	8	29.6%	0	0.0%	3	4.8%	0	0.0%	4	6.9%	1	1.3%	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	2	8.3%	0	0.0%	0	0.0%
合計</																								

まめバスアンケート調査結果(ルート別)

5.まめバスの主な利用目的

	1 関宿城		2 七光台		3 イオン		4 新北		5 清水		6 堤台		7 中		8 中根		9 愛宕		10 大殿井		11 南循環		12 新南	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
買物・私事	13	48.1%	34	55.7%	43	69.4%	25	54.3%	39	67.2%	46	60.5%	43	76.8%	64	81.0%	39	65.0%	15	62.5%	75	83.3%	36	64.3%
通院	9	33.3%	12	19.7%	24	38.7%	13	28.3%	15	25.9%	31	40.8%	17	30.4%	25	31.6%	14	23.3%	4	16.7%	25	27.8%	16	28.6%
通勤・通学	3	11.1%	12	19.7%	11	17.7%	12	26.1%	8	13.8%	11	14.5%	7	12.5%	8	10.1%	16	26.7%	7	29.2%	7	7.8%	16	28.6%
業務	0	0.0%	7	11.5%	7	11.3%	7	15.2%	2	3.4%	7	9.2%	3	5.4%	3	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.3%	2	3.6%
その他	0	0.0%	4	6.6%	2	3.2%	3	6.5%	0	0.0%	5	6.6%	5	8.9%	4	5.1%	5	8.3%	3	12.5%	3	3.3%	3	5.4%
合計	25		69		87		60		64		100		75		104		74		29		113		73	

・ 4 新北、9 愛宕、10 大殿井、12 新南で、通勤・通学の割合が高い。通院は 6 堤台で割合が高くなっている。

7.他の交通への乗り継ぎ

MA

	1 関宿城		2 七光台		3 イオン		4 新北		5 清水		6 堤台		7 中		8 中根		9 愛宕		10 大殿井		11 南循環		12 新南	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
鉄道	2	7.4%	43	70.5%	30	48.4%	19	41.3%	24	41.4%	34	44.7%	18	32.1%	42	53.2%	36	60.0%	19	79.2%	34	37.8%	24	42.9%
路線バス	6	22.2%	7	11.5%	6	9.7%	1	2.2%	0	0.0%	2	2.6%	2	3.6%	2	2.5%	1	1.7%	1	4.2%	8	8.9%	2	3.6%
まめバスの他路線	1	3.7%	6	9.8%	7	11.3%	2	4.3%	9	15.5%	8	10.5%	5	8.9%	5	6.3%	1	1.7%	0	0.0%	10	11.1%	6	10.7%
乗り継ぎなし	11	40.7%	12	19.7%	19	30.6%	23	50.0%	18	31.0%	29	38.2%	31	55.4%	28	35.4%	20	33.3%	3	12.5%	41	45.6%	25	44.6%
合計	20		68		62		45		51		73		56		77		58		23		93		57	

・ 2 七光台、9 愛宕、10 大殿井は鉄道への乗り継ぎへの割合が高い。

・ 1 関宿城では路線バスへの乗り継ぎの割合が比較的大きくなっている。

8.まめバスの利用で重視する点

	1 関宿城		2 七光台		3 イオン		4 新北		5 清水		6 堤台		7 中		8 中根		9 愛宕		10 大殿井		11 南循環		12 新南	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
バス停まで近い	7	25.9%	28	45.9%	30	48.4%	23	50.0%	28	48.3%	48	63.2%	32	57.1%	41	51.9%	30	50.0%	12	50.0%	46	51.1%	28	50.0%
運行本数が多い	1	3.7%	0	0.0%	3	4.8%	4	8.7%	3	5.2%	4	5.3%	5	8.9%	9	11.4%	7	11.7%	5	20.8%	15	16.7%	6	10.7%
料金が安い	10	37.0%	41	67.2%	35	56.5%	23	50.0%	30	51.7%	38	50.0%	26	46.4%	38	48.1%	33	55.0%	10	41.7%	43	47.8%	40	71.4%
時刻表通りの運行	1	3.7%	5	8.2%	4	6.5%	4	8.7%	4	6.9%	14	18.4%	4	7.1%	13	16.5%	6	10.0%	4	16.7%	14	15.6%	2	3.6%
移動に合った運行ダイヤ	1	3.7%	4	6.6%	1	1.6%	4	8.7%	4	6.9%	9	11.8%	5	8.9%	8	10.1%	8	13.3%	2	8.3%	8	8.9%	4	7.1%
合計	20		78		73		58		69		113		72		109		84		33		126		80	

・ ルート間で大きな差はなく、バス停までの距離と料金が重視されている。

・ 運行本数を重視する割合は10大殿井で最も大きく、時刻表通りの運行を重視する割合は6堤台で最も大きい。

9.まめバスの利用はいくらまで

	1 関宿城		2 七光台		3 イオン		4 新北		5 清水		6 堤台		7 中		8 中根		9 愛宕	
--	-------	--	-------	--	-------	--	------	--	------	--	------	--	-----	--	------	--	------	--

まめバスアンケート調査結果(ルート別)

10.まめバス以外の外出時の主な交通手段

	1 関宿城		2 七光台		3 イオン		4 新北		5 清水		6 堤台		7 中		8 中根		9 愛宕		10 大殿井		11 南循環		12 新南	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
徒歩	7	25.9%	29	47.5%	25	40.3%	24	52.2%	24	41.4%	45	59.2%	40	71.4%	50	63.3%	32	53.3%	16	66.7%	51	56.7%	42	75.0%
自転車	2	7.4%	20	32.8%	21	33.9%	15	32.6%	13	22.4%	21	27.6%	17	30.4%	22	27.8%	20	33.3%	6	25.0%	21	23.3%	16	28.6%
バイク	0	0.0%	0	0.0%	1	1.6%	0	0.0%	2	3.4%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
鉄道	2	7.4%	25	41.0%	23	37.1%	19	41.3%	27	46.6%	28	36.8%	23	41.1%	33	41.8%	18	30.0%	9	37.5%	25	27.8%	23	41.1%
路線バス	10	37.0%	27	44.3%	19	30.6%	7	15.2%	6	10.3%	7	9.2%	14	25.0%	8	10.1%	5	8.3%	8	33.3%	23	25.6%	10	17.9%
タクシー	1	3.7%	7	11.5%	9	14.5%	8	17.4%	8	13.8%	11	14.5%	12	21.4%	18	22.8%	12	20.0%	5	20.8%	23	25.6%	9	16.1%
福祉タクシー	0	0.0%	2	3.3%	1	1.6%	1	2.2%	3	5.2%	2	2.6%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.2%	1	1.8%
自ら運転する自動車	0	0.0%	6	9.8%	6	9.7%	6	13.0%	4	6.9%	12	15.8%	5	8.9%	4	5.1%	2	3.3%	3	12.5%	3	3.3%	10	17.9%
自動車で送迎	1	3.7%	9	14.8%	10	16.1%	2	4.3%	4	6.9%	7	9.2%	6	10.7%	3	3.8%	6	10.0%	2	8.3%	4	4.4%	6	10.7%
合計	23		125		115		82		91		134		117		140		96		49		152		117	

・1 関宿城では他ルートと異なる回答分布となっており、路線バスがまめバス以外の主要な交通手段となっている。

・自動車利用（送迎含む）は2 七光台、3 イオン、6 堤台などで割合が高い。

11.主な外出頻度

	1 関宿城		2 七光台		3 イオン		4 新北		5 清水		6 堤台		7 中		8 中根		9 愛宕		10 大殿井		11 南循環		12 新南	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
ほぼ毎日	6	22.2%	31	50.8%	28	45.2%	24	52.2%	25	43.1%	38	50.0%	28	50.0%	39	49.4%	33	55.0%	12	50.0%	43	47.8%	30	53.6%
週1~2回	7	25.9%	22	36.1%	24	38.7%	16	34.8%	23	39.7%	27	35.5%	23	41.1%	36	45.6%	20	33.3%	10	41.7%	38	42.2%	21	37.5%
月1回	6	22.2%	5	8.2%	7	11.3%	3	6.5%	4	6.9%	4	5.3%	0	0.0%	0	0.0%	4	6.7%	2	8.3%	4	4.4%	2	3.6%
年に数回	0	0.0%	3	4.9%	0	0.0%	1	2.2%	0	0.0%	3	3.9%	3	5.4%	1	1.3%	3	5.0%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.8%
無回答	8	29.6%	0	0.0%	3	4.8%	2	4.3%	6	10.3%	4	5.3%	2	3.6%	3	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	4	4.4%	2	3.6%
合計	27		61		62		46		58		76		56		79		60		24		90		56	

・1 関宿城では月1回の外出が他ルートに比べて大きく、全体として外出頻度が少ない傾向にある。

・その他のルートでは傾向に大きな差はない。

12.自動車免許の保有状況

	1 関宿城		2 七光台		3 イオン		4 新北		5 清水		6 堤台		7 中		8 中根		9 愛宕		10 大殿井		11 南循環		12 新南	
	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合	人	割合
免許を持っている	4	14.8%	25	41.0%	19	30.6%	24	52.2%	18	31.0%	23	30.3%	16	28.6%	27	34.2%	20	33.3%	10	41.7%	43	47.8%	24	42.9%
免許を持っていない	12	44.4%	28	45.9%	29	46.8%	12	26.1%	29	50.0%	39	51.3%	28	50.0%	39	49.4%	28	46.7%	9	37.5%	38	42.2%	28	50.0%
自主返納した	3	11.1%	7	11.5%	11	17.7%	7	15.2%	5	8.6%	12	15.8%	11	19.6%	9	11.4%	8	13.3%	3	12.5%	4	4.4%	2	3.6%
自主返納する予定	0	0.0%	1	1.6%	2	3.2%	1	2.2%	2	3.4%	1	1.3%	0	0.0%	2	2.5%	4	6.7%	0	0.0%	1	1.1%	1	1.8%
無回答	8	29.6%	0	0.0%	1	1.6%	2	4.3%	4	6.9%	1	1.3%	1	1.8%	2	2.5%	0	0.0%	2	8.3%	4	4.4%	1	1.8%
合計	27		61		62		46		58		76		56		79		60		24		90		56	

・ルート間で顕著な差はないものの、4 新北は免許所持者の利用率が高く、5 清水、6 堤台、7 中、8 中根、12 新南では免許を持って

まめバスの利用促進策について

1 市報や SNS を活用した情報発信

様々なまめバスの利用方法等を周知し利用促進につなげるため、PR 推進室等と連携して市報による「シリーズまめバス」の掲載、ホームページによるまめバス専用ページの開設、SNS による情報発信を実施しました。

<市報>（資料 3－2）

- ・シリーズ「まめバス」①、②
通勤通学に活用できる駅までのルート及びダイヤの紹介
- ・シリーズ「まめバス」③
ゆめあぐり野田へのルート及びダイヤの紹介

<ホームページ>（資料 3－3）

- ・野田市ホームページのスライダーリンク及び関連ページ新規作成

<SNS>（資料 3－4）

- ・Facebook
- ・Instagram

2 イベント会場におけるまめバス車両展示等の実施

幅広い年代へまめバスを周知し利用促進につなげるため、イベント会場において、まめバスの展示による乗車体験及び写真撮影、啓発物資の配布等を実施しました。（資料 3－5）

<産業祭>令和 7 年 10 月 18 日（土）

- ・まめバスの車両の展示、乗車体験
- ・まめバス前及び運転席での写真撮影
- ・カプセルトイによる缶バッジの配布
- ・まめバスオリジナルカード、ペーパークラフト、塗り絵、バスロケーションシステム利用案内の配布

<JA ちば東葛野田地区農業まつり>令和 7 年 11 月 15 日（土）

- ・まめバスオリジナルカード、ペーパークラフト、塗り絵、バスロケーションシステム利用案内の配布
- ・バスロケーションシステム利用方法の周知、操作方法の実演指導

3 市内小学校での出前授業の実施

まめバス及び路線バスの利用促進のため、茨城急行自動車(株)主催により、小学校低学年の生徒を対象に、市内小学校において出前授業を行い、まめバスの乗車体験、乗車マナーの説明等を実施しました。

<実施目的>

バスを利用する際の基本的な手順を学び、公共交通としてのバスの役割について理解を深めていただくとともに、バスを身近なものとして捉え将来にわたって気軽にバスを利用していただく。また、まめバスの乗車体験を行うことで興味を持ってもらい、コミュニティバスの利用促進につなげる。

<開催日>

- ・令和7年9月26日（金）二川小学校、福田第一小学校
- ・令和7年10月22日（水）みずき小学校

<内容>

座学10分、体験30分の1回40分程度

バスの車内外設備の見学、乗車体験、乗車マナーの説明、ぬりえの配布

4 まめバスチョロQの販売（市制施行75周年記念事業）

市制施行75周年を記念してまめバスの利用促進を図るとともに、野田市への愛着心の醸成を図ることを目的に令和8年2月8日から、「まめバスチョロQ」を販売します。

より多くの市民に行き渡るようにするため、市民限定の先行予約を実施し、市役所及びいちいのホールで販売した後、市内店舗等で一般販売します。

<先行予約>

- ・予約期間：令和8年1月5日（月）～23日（金）
- ・往復はがき又は市ホームページで申込

<販売場所及び日時>

【先行販売】販売個数6,000個（1人3個まで）

- ・2月8日（日） 9時～17時 野田市役所1階ロビー
- ・2月15日（日） 9時～17時 いちいのホール1階ロビー

【市内店舗等の一般販売】販売個数3,800個（1人3個まで）

- ・2月16日（月）～



パブリック・メントで

皆さんの意見を募集

市では、①「野田市地域防災計画（修正素案）」、②「野田市下水道事業経営戦略（素案）」に皆さんの声を反映させるため、8月20日函から9月18日（木）まで意見を募集します。

①野田市地域防災計画（修正素案）

災害に備えて、市や防災関係機関が連携し、市民の生命、身体及び財産を守るために総合的な計画を策定します。

②下水道事業経営戦略（素案）

市民の良好な水環境を保全し快適な生活環境を保つために、将来にわたり安定した経営基盤の確保を目的とした、下水道事業の経営戦略を改定します。

【提出方法】

所定の用紙か任意の書式を直接持参（印押を除く）するか、閲覧場所の意



市長と株式会社伊藤園春日部支店荒井支店長

野田市のSDGs（持続可能な開発目標）の取り組みに賛同する株式会社伊藤園と「SDG

持続可能な社会のために SDGs寄附型自販機を設置

s寄附型自動販売機」事業を始めるため、連携事業開始式を7月24日に行いました。設置されるSDGs寄附型自販機の売上の一部が、野田市のSDGs推進事業に寄附されます。

今後、市内で本事業に賛同いただける方を募集し、自動販売機の設置を進めています。

【問合せ】企画調整課 ☎ 047-19

【HP検索】1048520
7-5767

見投函箱に投函、市ホームページ「ちば電子申請サービス」から提出するほか、FAX（①はFAX④7-123-1737、②はFAX④7-122-1558）、郵送（最終日の消印有効）のいずれ

かで、案件名と素案に対する意見、住所・氏名を明記し、〒278-8550野田市役所各担当課へ送付

【HP検索】1001230



皆さんの意見を市政に

■朝の通勤・通学に適した便（川間駅）

駅到着時刻	ルート
7時25分	②関宿七光台ルート1便（川間駅南口行き）
7時45分	⑦中ルート1便（左回り）
7時47分	④新北ルート1便（市役所行き）
8時02分	⑤清水ルート1便（イオンタウン行き）
8時12分	③関宿イオントウンルート1便（川間駅南口行き）
8時32分	⑤清水ルート2便（市役所行き）
9時00分	⑥堤台ルート2便（川間駅南口行き）

■夕方の通勤・通学に適した便（川間駅）

駅出発時刻	ルート
16時23分	③関宿イオントウンルート10便（関宿中央ターミナル行き）
16時44分	⑦中ルート7便（左回り）
16時48分	⑤清水ルート9便（イオントウン行き）
17時00分	②関宿七光台ルート12便（関宿中央ターミナル行き）
17時07分	④新北ルート7便（市役所行き）
17時18分	⑤清水ルート10便（市役所行き）
17時40分	⑥堤台ルート11便（市役所行き）
18時23分	②関宿七光台ルート14便（関宿中央ターミナル行き）
18時28分	④新北ルート8便（関宿総合公園行き）
18時36分	⑤清水ルート11便（イオントウン行き）
18時41分	⑦中ルート8便（右回り）
18時43分	③関宿イオントウンルート12便（関宿中央ターミナル行き）
19時08分	⑤清水ルート12便（市役所行き）
19時14分	⑦中ルート9便（左回り）

平成16年1月に運行を開始したまめバスは、令和6年3月には利用者が延べ600万人を突破し、「市民の足」として定着してきましたが、コロナ禍でのライフスタイル変化や燃料費・人件費の高騰などにより、運行維持が難しい状況となっています。

昨年10月から運行ルートや

【HP検索】1042624



シリーズ「まめバス」① 通勤や通学にご活用を

ダイヤを見直し、朝夕の各駅発着便を増やしていますので、まめバスの利用をお願いします。

川間駅以外の通勤・通学に適した便は、次号以降で紹介します。

【問合せ】交通政策室 ☎ 047-1

23-1065